



指揮 井村 誠貴

オペラ指揮者。2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなどオペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では大阪響、京都市響、名古屋フィル、セントラル愛知響等を客演。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、「マイ・フェアレディ」「レ・ミゼラブル」等のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけでなく、オペラ演出、さらには作曲・作詞・編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。9回の演奏会で5400万円を超える義援金を届けた。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間100公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。



司会 山下 まみ

北海道出身、9月13日生まれ。2002年、ハウス食品「うまいっしょ」のCMでデビュー。地元北海道で、CMや情報番組のリポーター、札幌テレビ放送での人気番組「1×8いこうよ!」の1×8ガールズなどを務める。その後声優を目指し、上京。のち、青二プロダクションに所属。以下主な出演作品は、アニメ：けものフレンズ(マーゲイ役)、BanG Dream!(山吹千紘役)、テレビ：NHK「NEWS WEB」コーナー担当、日テレ「news every」リポーター、ゲーム：Tokyo 7th Sisters(九条ウメ役)、龍が如く5 夢、叶えし者(山下まみ役)、司会：BRA★BRA FINAL FANTASY BRASS de BRAVO with Siena Wind Orchestraなど、他多数。



Photo: K.Miura

演奏

シエナ・ウインド・オーケストラ

1990年に結成されたプロのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点とし、定期演奏会のほか全国各地での依頼公演や青少年育成事業への出演、アンサンブルユニットによる公演や吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。2002年には首席指揮者に佐渡裕を迎え、毎年全国ツアーを展開するほか、最近では原田慶太楼、宮川彬良など多彩な指揮者を客演に加え、幅広いレパートリーを生かした活動を繰り返している。2017年には挟間美帆をコンポーザー・イン・レジデンスに迎え、吹奏楽作品の普及にも積極的に取り組んでいる。2010年から東京都文京区との事業提携を皮切りに、各地の大学や自治体との提携を増やしており、地域や教育機関と密着した活動を積極的に展開している。CD・DVDも多数収録しており、いずれも大きな話題を呼んでいる。
公式HP <http://sienawind.com/>

本公演スケジュール

実施日程	実施校名	地元主催者
7月4日(月)	阿見町立阿見小学校	茨城県
7月5日(火)	日立市立水木小学校	茨城県
7月13日(水)	市川市立福栄中学校	千葉県
7月14日(木)	成田市立大栄みらい学園	千葉県
10月13日(木)	笛吹市立一宮西小学校	山梨県
10月14日(金)	富士吉田市立下吉田第二小学校	山梨県
10月17日(月)	青梅市立河辺小学校	東京都

知っていますか？
～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業
—巡回公演事業—
オーケストラ公演



「文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

まよくもくかけせつ
曲目解説

オーケストラ探検隊

おんがく なん 音楽って何だ???

オープニング

バーンスタイン(グランドマン編曲)

キャンディード序曲

アメリカの作曲家レナード・バーンスタインが作曲したオペラ「キャンディード」で最初に演奏される曲。

サン=サーンス(狭間美帆編曲)

組曲「動物の謝肉祭」による
《ふしぎな動物園》より

“序奏と獅子王の行進”～“めんどりとおんどり”～
“ぞう”～“カンガルー”～“水族館”～“化石”～“終曲”

フランスの作曲家カミーユ・サン=サーンスが動物をモチーフにした組曲にお話を付けました。動物たちを思い浮かべつつ、物語も楽しみながら聴いてください。
(テキスト: 新井鷗子)

サン=サーンス(佐藤泰将編曲)

交響詩「死の舞踏」

真夜中の墓場で死神やガイコツたちが踊る光景を描いた曲です。「動物の謝肉祭」の“化石”をモチーフにしたともいわれています。曲の最後にニワトリの鳴き声が朝を告げるとガイコツたちは墓に戻っていきます。

スパーク オリент急行

イギリスの作曲家フィリップ・スパークの代表作で、ヨーロッパを疾走する急行列車の出発から到着までの様々な場面を描いた曲。蒸気機関車の走行音、汽笛や車掌が吹く笛などが描写されています。

ハチャトリアン(稲垣卓三編曲)

バレエ音楽「ガイヌ」より“剣の舞”

クルド人という中東の山岳民族が、サーベルという刀を振り回しながら激しく踊る様子を描いたバレエのための音楽です。シロフォンという木琴とトロンボーンがだいがかつやく、大活躍しますので、注目しながら聴いてください。

シュライナー(ハワード編曲)

インマー・クライナー

インマー・クライナーはドイツ語です。日本語にすると「だんだん小さく」という意味になります。クラリネットの独奏曲として作曲されましたが、何が小さくなるかはみなさんが確かめてください。

プラード(三浦秀秋編曲)

マンボのビート

とてもノリのよいこの曲は30年前に放送していたテレビ番組のオープニングテーマとして使われていました。今回はこの曲でみなさんと楽しく共演します。手拍子やボディパーカッションでオーケストラといっしょに楽しみましょう!

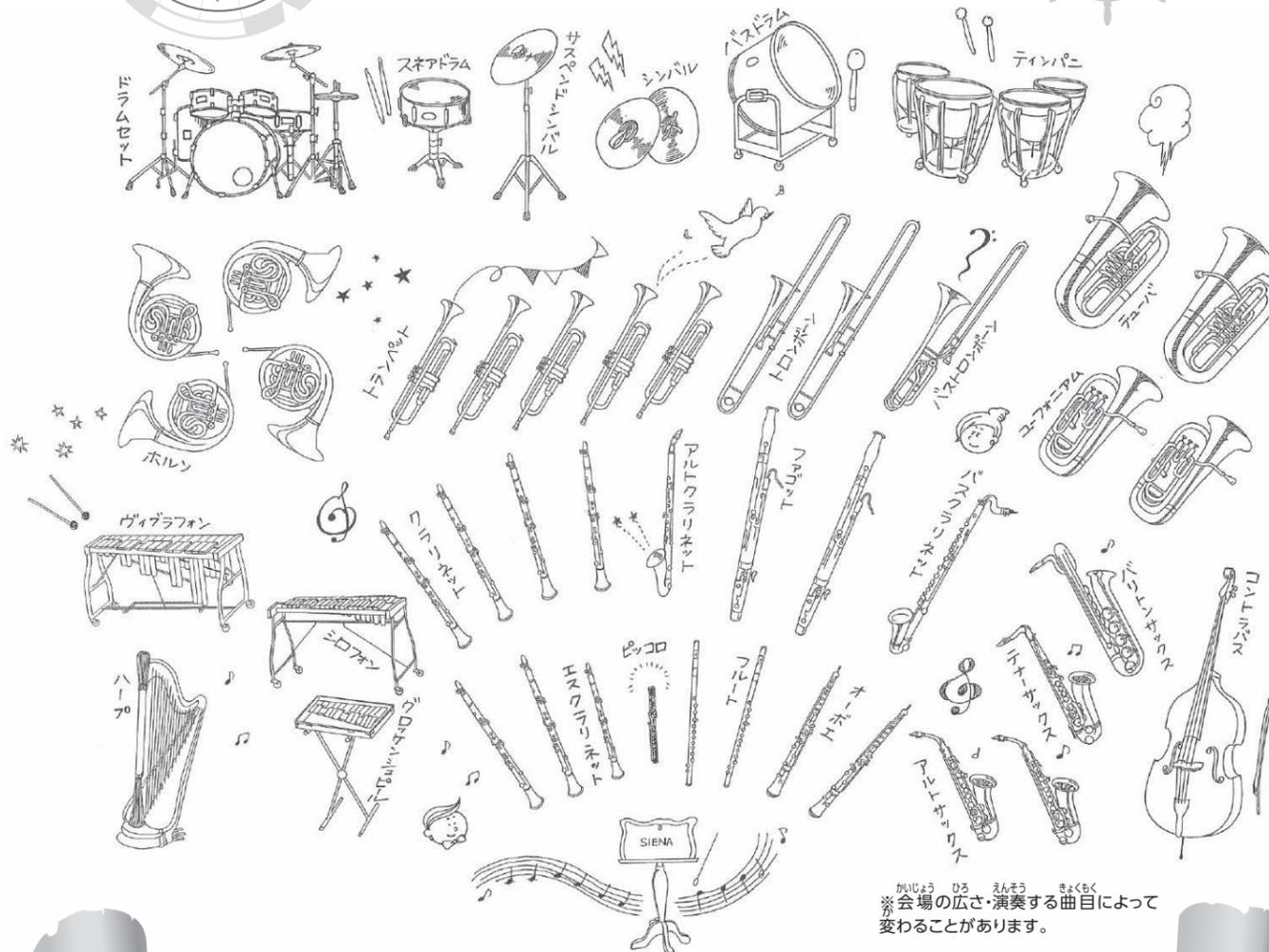
サン=サーンス(大橋晃一編曲)

歌劇「サムソンとデリラ」より
“バッカナール”

バッカナールとは歌劇の中で、お酒の神様をたたえる宴の場面を描いた音楽です。オーボエが奏でるエキゾチックな旋律で始まり、カスターネットに導かれ宴はさらに盛り上がり、最後はホルンの雄叫びにより幕を閉じます。



シエナ・ウインド・オーケストラ 配置図



※会場の広さ・演奏する曲目によって変わることがあります。

オーケストラ探検隊

おんがく なん 音楽って何だ???

作曲家が音楽を使って伝えたいさまざまな表現を

オーケストラが探検していきながら、楽しく学べるコンサートです。

動物、ガイコツ、汽車、宴会などいろいろなものできごとを

音楽であらわしたら、どんなふうになるんだろう?

いろんな音楽にふれて、「なるほど!」と思ったり、

「ぜんぜんそんなふうには聞こえないよ」と思ったり、

自由に感じながらオーケストラといっしょに楽しんでおおう!